会 員 各位 関係者 各位

食農資源経済学会 会長 山本 直之

2024年度 食農資源経済学会 第 18 回大会(宮崎大会)のご案内

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2024 年度食農資源経済学会第 18 回大会(宮崎大会)を下記のとおり開催いたします。多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【1】日 程

9月6日[金] ◇エクスカーション 12:30~17:30 (宮崎県西臼杵郡)

◇理事会 17:40~19:40 (ゆめゆめプラザ・TAC 図書研修室)

9月7日「土」 ◇報告討論会 9:00~16:30 (ゆめゆめプラザ・TAC 大研修室)

 \diamondsuit 編集委員会 $12:00\sim13:00$ (ゆめゆめプラザ・TAC 営農相談室) \diamondsuit 総会 $13:00\sim14:00$ (ゆめゆめプラザ・TAC 大研修室)

◇懇親会 18:00~20:00 (ホテル高千穂)

9月8日[日] ◇研究報告会 9:00~16:00 (ゆめゆめプラザ・TAC 視聴覚室・中研修室)

【2】会 場

◎大会会場 ゆめゆめプラザ・TAC(Aコープ高千穂店の地下1階)

〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井 33-5

電話番号 0982-72-3165

- ※自動車でお越しの場合、駐車場をご利用いただけます (無料)。Aコープの駐車場に入ってすぐの右方向にスロープが見えます。ここを下っていったところに駐車場がございますので、そちらをご利用下さい。
- ※9月7日[土]の昼食は、事前に申し込みをされた希望者にお弁当を準備いたします。希望される方は大会参加の申し込み(6ページ目)から申し込みをされてください。受付の際に昼食券をお渡しいたします。会場周辺にも、飲食店はございます(徒歩10分程度)。なお、9月8日[日]はお弁当等の準備はございません。

◎懇親会会場 ホテル高千穂

〒882-1101 宮崎県西臼杵郡高千穂町三田井 1037-4

電話番号 0982-72-3255

※大会会場から懇親会会場まで、バスを運行いたします。懇親会終了後も、懇親会会場から 延岡駅行き(ホテルグレイトフル高千穂、町の中心部などを経由)のバスを運行いたしま すので、延岡にご宿泊予定の皆様もお気軽にご参加ください。

◎大会会場への交通案内

高千穂バスセンターから徒歩8分

高千穂バスセンターへの主なアクセス方法

- ○高速バス
 - ・延岡-福岡「ごかせ号」、延岡-熊本「たかちほ号」の2種類があります
 - ・ごかせ号は4便/日,たかちほ号は1便/日です。いずれも予約が必要ですので、ご利用 の方は下記 URL などを参照され、ご自身で予約をお願いいたします。

ごかせ号に関する情報 : https://www.miyakoh.co.jp/express/gokase.html たかちほ号時刻・運賃 : https://www.sankobus.jp/bus/takachiho/jikoku/

○路線バス

・延岡一高千穂 時刻表: https://www.miyakoh.co.jp/rosen/0 jikoku/6-01 20231001.pdf ※延岡駅までは JR をご利用ください

○自動車

- ・鹿児島市・長崎市から 3.5 時間前後
- ・福岡市から3時間前後(高速バスもほぼ同程度)
- ・佐賀市・大分市・宮崎市から2時間半前後
- ・熊本市から2時間前後(高速バスより30分程度早い)
- ○飛行機をご利用の場合は、上記の高速バス発着地に近い空港をご利用ください
 - ・福岡空港 → 高速バスもしくはレンタカー
 - ・熊本空港 → 高速バスもしくはレンタカー
 - ・宮崎空港 → レンタカーもしくはJR+路線バス
- ※「JR+高速バス」という手段もありますが、高速バスの便数がきわめて少ないので接続を 考慮すると限定的だと考えられます。

◎宿泊先および交通に関する重要な情報

高千穂町は宮崎県内有数の人気の観光地です。大会期間中は、観光シーズンと重なっていますので、お早目の予約をお願いいたします。町内の宿泊先としては、Web上の予約サービスなどに掲載されているホテル等だけでなく、民宿や旅館、ゲストハウス、農村民泊などもございます。高千穂観光協会の情報(https://takachiho-kanko.info/stay/)をご参照ください。なお、具体的な施設情報、空室情報、利用料金などについてはご自身でお問い合わせいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。自動車が必須な宿泊先も多いので、地図などを用いて十分にご確認ください。農村民泊をご希望の場合は、ツーリズム高千穂郷(https://takachiho-go.jp/)にお問い合わせください。また、延岡駅周辺であれば宿泊先を確保することはより容易だと考えられます。町内での宿泊先確保が難しい場合は、そちらもご利用ください。

町内へのアクセス、町内での移動の手段については、決して豊富な選択肢があるわけではございません。ご自身の移動手段、利用できる交通機関などについて、事前に十分にご確認いただき、計画的にお越しくださいますようお願い申し上げます。

◎学会でのホテル予約について

メールアドレスを学会にご登録いただいている個人会員の方にはご連絡いたしましたが、以下のホテルを学会にて抑えております。

- ・ホテルグレイトフル高千穂(ダブル・禁煙・11,000円/泊)
- ・ビジネスホテルかなや (ツイン・喫煙・6 日 (金)5.900 円・7 日 (土)6.400 円)

いずれも6日[金]と7日[土]の連泊を前提としております。

残り僅かとなっておりますが、学会枠でのご予約を希望される場合、7月31日[水]までに、 学会事務局 (jimu@shokunoshigen.jp) までご連絡ください。

【3】エクスカーション

今回のエクスカーションでは、翌日の報告討論会に関連した中山間地域における多様な取り 組みについて視察します。

高千穂町から五ヶ瀬町に向かい、まずは「五ヶ瀬ワイナリー」(五ヶ瀬町)にて昼食をとります。町内の食材をふんだんに使用したビュッフェ形式のレストランでの食事となります。昼食後は、隣接する直売店やワイナリーで地元の産品をご覧ください。

次に、翌日の報告討論会の第 2 報告で紹介される「宮崎茶房」(五ヶ瀬町)を視察します。 本地域では、国内でも非常に希少な釜炒り茶が広く生産されています。圃場や茶工場を見学し ながらの概要説明、釜炒り茶・ウーロン茶・紅茶などの試飲・飲み比べをおこないます。

その後、高千穂町まで移動し、本地域の特徴的な景観をご覧いただくために、「栃又の棚田」と「山腹用水路」、さらに放牧の様子を視察します(天気の状況により変更の可能性があります)。第 4 報告で紹介される集落に近く、本地域の農林業システムを理解する一助となると考えられます。

なお、バスの座席に限りがあるため、参加申込順により満席(20名)になり次第締め切らせていただきます。そのため、エクスカーションへの参加を希望される方は、早めに大会申込URLにて参加申し込みを行ってください。参加費は3,000円です(バス代・謝金の一部負担、昼食代等)。参加申込状況は学会 HPで随時お知らせいたします。

[エクスカーションのスケジュール]

集合場所は3か所あります。

下記のルートをご確認の上、交通手段や宿泊場所に合わせて集合してください。

12:20ホテルグレイトフル高千穂12:25ビジネスホテルかなや12:30高千穂バスセンター13:00五ヶ瀬ワイナリー着

13:00~14:00 昼食および五ヶ瀬ワイナリー、直売所視察(自由行動)

14:15 宮崎茶房着

14:15~15:45 宮崎茶房の取組視察(概要説明、圃場、茶工場見学、試飲)

16:15 中川登集落着

16:15~17:00 棚田、放牧などの視察

17:00~17:30 ホテルグレイトフル高千穂、ビジネスホテルかなやなど

※諸事情により旅程が変更となる可能性がございます。変更等は、学会 HP で随時お知らせいたします。

[エクスカーション参加者集合場所]

ホテルグレイトフル高千穂、ビジネスホテルかなや、高千穂バスセンターの 3 か所になります。 上記のスケジュールを参照のうえ、交通手段や宿泊場所に合わせて時間までにお越しください。

当日の連絡先(090-6292-5173:西)



【4】報告討論会

○共通テーマ『中山間地域における多様な食や農を支えるシステム(仮)』

9:00~9:05 学会長挨拶 山本直之(宮崎大学) 9:05~9:20 座長解題 西 和盛(宮崎大学)

○報告討論会のねらい

九州山地に位置する高千穂郷・椎葉山地域では、全国の多くの地域で失われた農林業複合経営がみられる。農林業複合経営は、この地域における大きな柱として機能し、先人たちの知識・知恵の伝承、生物多様性の保全、豊かな景観や社会組織の維持などにも貢献していると考えられている。2015年には、世界農業遺産に認定され、注目に値する地域である。また、伝統的な農林業経営だけでなく、法人経営を含む多様な担い手が参入し、これらと連携がとれているのも本地域の特徴のひとつであり、ますます厳しさを増す中山間地域農林業における新しいかたちを見ることができる。

本報告討論会においては、多様な食と農を支えるシステムを有する本地域の実情を共有し、持続可能な農業についてのヒントを得られる場にしたい。

○報告討論会各報告時間

9:20~10:00 第1報告「高千穂郷・椎葉山地域の農林業複合経営(仮)」

藤掛一郎 (宮崎大学)

10:00~10:40 第2報告「中山間地域の茶業経営における経営判断と地域での役割

-宮崎茶房を事例として-(仮)」

坂本貴子(宮崎大学大学院)

宮崎 亮 (株式会社宮崎茶房)

山本直之(宮崎大学) ほか4名

10:40~11:20 第3報告「JA グループによる中山間地域政策のビジョン(仮)」

報告者検討中(JA みやざき)

11:20~12:00 第4報告「農業参入企業と地域の協働による棚田活用の取組(仮)」

梅田裕樹(早稲田大学大学院)

福嶋信二(農事組合法人高千穂かわのぼり)

12:00~13:00 昼食

13:00~14:00 総会

14:00~14:30 コメント (2人・各15分)

第1コメンテーター 宮崎県から選出予定

第2コメンテーター GIAHS研究会から選出予定

14:30~16:30 討論

【5】大会参加の申し込み

大会(エクスカーション・報告討論会・研究報告会・懇親会)参加希望者は、8月10日[土] までに、下記 URL あるいは QR コードの Google フォームより、参加申し込み手続きを行ってください。9月7日[土]に限り、昼食の注文もこちらで承ります。

※予約の関係上、懇親会も下記 URL または QR コードから事前申込をお願いいたします。

①大会参加申し込み URL と QR コード

https://forms.gle/aXi2W3ZqmvyzZJER7



学会 HP のトップページにある「トピックス」にも大会情報を掲載しています。ここからでも上記の大会参加申込み URL にアクセスできます。

参加申し込み後、登録いただいたメールアドレスに、受付をお知らせするメールが届きます。必ず確認し、届かない場合は宮崎大会 大会実行委員会・事務局(kazumori@cc.miyazaki-u.ac.jp)までご連絡ください。

②Google フォームが使用できない場合の参加申し込み先

大会実行委員会·事務局(2024年度大会) E-mail: kazumori@cc.miyazaki-u.ac.jp

<u>件名を「大会参加申込み・氏名」として、下記アドレスまでメールをご送信ください。</u> その際、報告討論会、懇親会、研究報告会、エクスカーションのそれぞれについて参加の可 否および9月7日[土]の弁当注文希望の有無をお知らせください。

事務処理の都合上、可能な限り Google フォームによる参加申し込みにご協力ください。

【6】研究報告の申し込み

報告希望者は、**7月31日[水](必着)**までに、報告要旨1ページ分(「研究報告要旨作成要領」参照)のデータファイル(Microsoft Word)を電子メールに添付し、メールの件名を「研究報告申込み・氏名」として下記の学会事務局宛に送信してください。

なお、研究報告会での発表を希望される非会員の方は、申込締め切りまでに、入会申請手続きと年会費 (2024年8月1日~2025年7月31日分) の支払いを行ってください。

報告時間は(質疑を除いて) $15\sim20$ 分の予定です。報告順、時間等については追って学会 HPに掲載いたします。

研究報告要旨送付先:学会事務局 髙橋昂也

E-mail: jimu@shokunoshigen.jp

【7】大会参加費

①大会資料代(大会参加費): 2,000 円

②エクスカーション参加費: 3,000円(昼食代込み)

③懇親会費 : 5,000 円 (学生会員 3,000 円)

【大会についてのお問い合わせ先】

(1) 第18回大会(宮崎大会)についてのお問い合わせは、以下にお願いいたします。

大会実行委員会·委員長 : 西 和盛 (宮崎大学) 大会実行委員会·事務局 : 狩野秀之 (宮崎大学)

Tel. 0985-58-7482

E-mail: kazumori@cc.miyazaki-u.ac.jp

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1

宮崎大学地域資源創成学部 食料・農業経済学研究室(西研究室)

(2) 当学会への入会および研究報告等についてのお問い合わせは、以下にお願いいたします。 食農資源経済学会・学会事務局 : 髙橋昂也 (九州大学)

Tel. 092-802-4688

E-mail: jimu@shokunoshigen.jp

〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学 大学院農学研究院 農業資源経済学部門内

以上

大会会場周辺 案内図



懇親会会場周辺 案内図



研究報告要旨作成要領

Manual for Making Abstract

1. 書式 Form

- 1) A4 判横書き。横 35 文字×縦 32 行。
- 2) 上下, 左右にそれぞれ 30mm の余白を取る。
- 3) 文字のフォントサイズは全て12ポイント。
- 4) 読点は「,」(全角コンマ), 句点は「。」。
- 1) A4 size and vertical 32 lines
- 2) Take the blank of 30mm in top and bottom, right and left.
- 3) All font size 12pt.

2. 構成 Constitution

1 行目: 題目 MS ゴシック, センタリング。 題目が 2 行にわたる場合は, 適宜改行してセンタリング。 副題 MS ゴシック, センタリング, ハイフンで閉じる (一副題一)。

2行目:空白行。(副題がある場合は、その次の行を空ける。以降同様。)

3行目:氏名(所属), MS 明朝, センタリング。姓と名の間は全角1文字空ける。

4 行目:空白行。

5 行目:本文, MS 明朝。英数文字は半角, Times New Roman。

Line 1) Title; Times New Roman, Bold, Centering. When the title spans two lines, break the line and center it accordingly. In addition, when there is a subtitle; Centering and using colon.

Line 2) Blank line.

Line 3) Name (Affiliation), Times New Roman, Centering.

How to write name; "Givenname SURNAME" (surname with all letters capitalized)

Line 4) Blank line.

Line 5) Text; Times New Roman.

3. 設定 Setting

用紙サイズ	A4	上段マージン	30ミリ
紙の置き方	縦方向	下段マージン	30ミリ
1行文字数	35文字	左端マージン	30ミリ
1ページ行数	32行	右端マージン	30ミリ
文字方向	横書き	ページ番号	付けない
本文のフォント	MS明朝	フォントサイズ	12ポイント

英数文字のフォント 半角, Times New Roman

Paper Size A4 Header margin 30mm Print orientation longitudinally Footer margin 30mm 30mm Number of lines per page 32 Left margin Font Times New Roman Right margin 30mm Page number Don't write Font size 12pt

4. その他 Other

上記設定をしたテンプレートを学会ホームページよりダウンロードし、適宜利用すること。

Please download and use the template with above settings from the website.

九州地域における農業・農村の持続的発展に向けた課題と展望 ー福岡県を事例としてー

九州 花子 (九州大学) 九州 太郎 (九州大学)

九州は他地域に比べて温暖であり、米、麦、大豆、飼料作物をはじめとする 土地利用型作物のほか、果樹や野菜といった労働集約的作物の栽培が盛んであ る。九州は全国の中でも農業のウエイトが大きい地域であり、農業の持続的発 展のあり方を探ることが、とても大きな課題になっている。

•

.

•

•

•

•

.

•

•

•

•

•

•

Challenges and Prospects for Sustainable Development of Agriculture and Rural Areas in the Kyushu Region: A Case Study of Fukuoka Prefecture

Hanako KYUSHU (Kyushu University)
Taro KYUSHU (Kyushu University)

Kyushu is warmer than other regions in Japan, and cultivation of land-use crops such as rice, wheat, soybeans, and fodder crops, as well as labor-intensive crops such as fruit trees and vegetables, is flourishing in the region. Kyushu is one of the regions in Japan where agriculture accounts for a large share of the national economy, and the search for ways to sustainably develop agriculture has become a major issue.

•

•

•

•

•

•

•

•

•

•

.

•

•